

平成23年度 事業報告書

自 平成23年4月 1日

至 平成24年3月31日

I. 事業の状況

1. 助成部(一般会計)に関する事項

蛋白質に関する研究の助成及び奨励について、従来どおり下記のごとく助成を行いました。

(1) 一般研究に対する助成

大阪大学蛋白質研究所における各部門及び研究施設に対し7,437,054円の助成を行いました。

蛋白質有機化学研究室	生体反応統御研究室
細胞外マトリックス研究室	エピジェネティクス研究室
蛋白質構造形成研究室	機能構造計測学研究室
蛋白質結晶学研究室	細胞内シグナル伝達研究室
ゲノム-染色体機能研究室	神経発生制御研究室
プロテオミクス総合研究センター（5研究系）	

(2) 蛋白質に関する研究者養成に対する助成

大阪大学蛋白質研究所若手研究者1名に対し、赤堀・鈴木奨学金を支給しました。

支出金額 816,000円

氏名	研究課題	支給額(円)	期間
三島 優一	再構成ヌクレオソームを用いたヒストン化学修飾認識機構の解析	816,000円	23.4.1~24.3.31

(3) 金子・成田研究奨励金の交付

アミノ酸、ペプチド、蛋白質等に関する優れた研究に対する研究奨励金の本年度該当者は、選考委員会において選考の結果次の4名に決定し、それぞれ 80 万円を交付しました。

支出金額 3,200,000 円

氏名	所属	研究題目
柳澤 幸子	兵庫県立大学大学院 生命理学研究科 特任助教	インドールアミン2, 3 ジオキシゲナーゼ反応機構の構造化学的研究
中井 忠志	大阪大学産業科学研究所 生体触媒科学研究分野 助教	新規なペプチド内架橋形成酵素の触媒機構
竹下 浩平	大阪大学蛋白質研究所 超分子構造解析学研究系 特任研究員	X線結晶構造解析による Dnmt1 のゲノムメチル化維持反応の解明
岡本 亮	大阪大学大学院 理学研究科化学専攻 助教	C-末端をN-アセチルグアニジンで活性化したペプチド誘導体の新規合成法の研究開発と糖タンパク質合成への応用

(4) 蛋白質に関するセミナー・講演会等開催への助成
 大阪大学蛋白質研究所等で次のとおりセミナー・講演会等を開催し、これに対して助成をしました。

セミナー

開催年月日	課 題	世 話 人
平成 23 年 4 月 27 日 ～28 日	蛋白質異常凝集の原理と制御	黒田 裕 (東京農工大・工学) 藤井紀子 (京都大・原子炉研) 永井義隆 (国立精神・神経センター) 後藤裕児 (阪大・蛋白研) 濱田大三 (神戸大・医)
平成 23 年 7 月 28 日 ～29 日	先端的 NMR 拠点から生まれる新たな潮流：最新成果、役割、利用	藤原敏道 (阪大・蛋白研) 児島長次郎 (阪大・蛋白研) 池上貴久 (阪大・蛋白研) 片平律子 (阪大・蛋白研)
平成 23 年 8 月 8 日	第 4 回「高校生のための特別公開講座」蛋白質-生命を担うこの身近で不思議な物質	
平成 23 年 11 月 19 日 ～20 日	疾患におけるエピゲノム異常の分子機構	豊田実(札幌医大・生化) 牛島俊和 (国立がん研センター) 田嶋正二 (阪大・蛋白研)
平成 23 年 11 月 21 日 ～22 日	第 2 回神経科学と構造生物学の融合	椎名伸之 (基生研) 五十嵐道弘 (新潟大・医) 中川敦史 (阪大・蛋白研)
平成 23 年 11 月 21 日 ～22 日	タンパク質科学の未来を語る －実験・理論研究者の対話－	重田育照 (阪大・基礎工) 久保稔 (兵庫県立大) 鷹野優 (阪大・蛋白研)
平成 23 年 11 月 30 日 ～12 月 1 日	幹細胞を制御する環境因子の分子基盤	二木杉子 (阪大・蛋白研) 山田雅司 (阪大・蛋白研) 古江-楠田美保 (医薬基盤研) 関口清俊 (阪大・蛋白研)
平成 24 年 3 月 1 日～ 3 月 1 日	神経疾患の克服に向けて	望月秀樹 (阪大院・医) 吉川和明 (阪大・蛋白研)
平成 24 年 3 月 3 日	ペプチド・蛋白質合成の未来像	相本三郎 (阪大・蛋白研) 川上徹 (阪大・蛋白研) 佐藤毅 (阪大・蛋白研)
平成 24 年 3 月 6 日～ 3 月 7 日	結晶学で見るタンパク質の化学と物理	武田一旗 (京大・理学研究科) 三木邦夫 (京大・理学研究科) 中川敦史 (阪大・蛋白研)
平成 24 年 3 月 27 日 ～3 月 28 日	In cell NMR workshop 2012	白川昌宏 (京大・工学研究科) 児島長次郎 (阪大・蛋白研)

(5) 研究支援事業

データベース利用の現状について

文献データベースは、Peptide Information (PDF 形式) の他にパーソナルコンピュータ上で利用する文献管理ソフトウェア (EndNote, GetARef) のデータ形式で配布しています。この改善により PubMed や DDBJ などの他の有用なデータベースへのリンク情報が直接利用できるようになりました。また、電子書籍リーダー Amazon Kindle に対応する形式も配布しています。化合物データベース (PRF/SYNDB) については、CD-ROM, DVD-ROM によるデータの配布も行い、また、Windows, Macintosh で利用できるようにもなりました。英語版の検索システム及びマニュアルも準備しています。また、化合物データベース (PRF/SYNDB) をインターネットを通じた検索ができます。

今期より、新たに ePUB 形式 (電子書籍データ形式) に対応することにより SONY Reader 他、各種タブレット端末でも Peptide Information が利用可能となりました。また、米国アマゾン社からの、Peptide Information for Kindle の頒布を継続しています。最近のタブレットPCやスマートホンの普及にあわせて、電子書籍としてだけでなく、Peptide Information アプリの開発を準備しています。

当財団で構築しているすべてのデータベースは、インターネットから利用することができ、財団のホームページから、各種の検索サービスが受けられるようにしてあります。近年の傾向としてデータベースの利用は印刷物やCDよりも、インターネットに重点が移ってきております。

財団が開設している World Wide Web のサーバーを通して、文献データベース (PRF/LITDB)、配列データベース (PRF/SEQDB) および化合物データベース (PRF/SYNDB) のインターネット上での直接の利用頻度は、今年度累計で約 13,000 件でした。

データベースシステムの改善について

ペプチド及びその関連化合物に関するデータベース (PRF/SYNDB) の画像情報データを、コンピュータで利用できます。化学構造自体を画像として閲覧することができるようにしたことで、よりわかりやすいデータの提示が可能となりました。蛋白質の修飾及びペプチド中の異常アミノ酸等の情報を直接検索できるデータベース (PRF/MODDB) の作成も継続しています。また、ペプチドの成熟構造に特化した構造データベース (PRF/STRDB) の構築も継続しています。近年、蛋白質やペプチドの同定に際して質量分析が一般的な手法となっており、また、化合物データについても分子量情報は大変重要なものとなっており、当財団のデータベースにおいては、可能な限り分子量情報や各種の修飾情報も格納し検索に使用できるようにしています。

検索対象となるデータベース及び検索・調査の内容に応じてリアルタイムで回答する方式と電子メールや報告書などでまとめて回答する形式を準備しています。

また、データ検索に関する相談も受け付けています。蛋白質・ペプチドのアミノ酸配列検索については、従来からの配列による検索だけではなく、物性や修飾構造などでも検索可能となっています。

データベースに関する研究協力について

文部科学省知的基盤研究「生体内ペプチドのデータベース作成の研究」については、その成果であるペプチドームデータベースの維持ならびに公開に引き続き協力しています。ペプチドームデータベースに対しては、当財団で構築している文献データベース(PRF/LITDB)、配列データベース(PRF/SEQDB)および修飾データベース(PRF/MODDB)の一部のデータを提供するだけでなく、より柔軟な検索システムの開発研究も続けております。インターネットを利用した本データベースの構築方法についての研究、及び公開方法ならびにネットワーク機構の研究も続行しています。

当財団で培われてきたコンピュータ、ネットワークに関する技術や研究成果をより多くの研究者、研究機関で役立てていただけるように、新たなデータベース構築や検索システムの開発に関して幅広い研究協力を続けています。今後も各種のデータベース構築に関する共同研究を積極的にすすめてまいります。

2. 事業部(収益事業会計)に関する事項

公益活動の健全な運営を維持するために、以下の事業を行いました。

(1) レンタルサーバー事業

複数台構成のサーバーを設置し、サーバーシステムのレンタル及び基盤システムの賃貸を行いました。あわせて、レンタルサーバーの維持管理とサーバー利用に関する指導を行いました。

(2) 建物賃貸事業

当財団の建物の一部の賃貸を行いました。

平成24年3月31日現在

II. 処務の概要

1. 理事・監事に関する事項

○ 理事定数 7名 任期3年 現員7名

理事 監事 の役職	氏名	常勤 非常勤の別	就任	重任	登記年月日 (新任・重任 のみ)	担当職務	現職名
			就任年月日	重任年月日			
理事長	木村皓俊	非常勤	H18.7.10	H21.7.10	H21.7.25	総括	(株)ペプチド研究所代表取締役会長
常務理事	黒坂雅基	常勤	H19.7.10	H22.7.10	H22.7.10	財務	(財)蛋白質研究奨励会主事
理事	相本三郎	非常勤	H23.8.10		H23.8.25		大阪大学 副学長
〃	川面克行	〃	H17.8.25	H22.8.25	H22.8.25		アサヒグループホールディングス (株)常務取締役兼 研究開発本部長
〃	榊原俊平	〃	S46.6.15	H22.8.25	H22.8.25		(株)ペプチド研究所 名誉会長
〃	白神 浩	〃	H22.8.25		H22.8.25		味の素(株)アミノ サイエンス事業開 発部長
〃	田中隆治	〃	H15.7.25	H21.7.25	H21.7.27		サントリー(株)技 術監

○ 監事定数 2名 任期3年: 現員2名

理事 監事 の役職	氏名	常勤 非常勤 の別	就任	重任	登記年月日 (新任・重任 のみ)	担当職務	現職名
監事	神吉由久	非常勤	H23.4.1	H23.8.25			(株)ペプチド研究所 総務部長
〃	唐沢 啓	〃	H22.8.25	H23.8.25			協和発酵キリン(株) 渉外部長

2. 評議員に関する事項

○ 評議員定数 15名 任期3年 現員15名

氏名	就任年月日	重任年月日	現職名
池中徳治	S56.7.30	H23.7.30	大阪大学名誉教授
石崎順	H22.8.25		塩野義製薬(株)創薬・探索研究所所長
大水博	H19.8.25	H22.8.25	田辺三菱製薬(株)
加藤正夫	H19.8.25	H22.8.25	アステラス製薬(株)研究本部専務理事
金岡昌治	H22.8.25		大日本住友製薬(株)執行役員・研究本部長
才野哲之	H22.8.25		日本化薬(株)顧問
常見雅彦	H22.1.1		(株)ペプチド研究所 取締役
西畑利明	H16.8.25	H22.8.25	参天製薬(株)常務執行役員・研究開発本部長
長谷俊治	H9.8.25	H21.8.25	大阪大学蛋白質研究所 所長
松田昭生	H19.8.25	H22.8.25	旭化成ファーマ(株)医薬研究センター創薬技術開発プロジェクト長
松宮孝明	H22.8.25		大阪大学蛋白質研究所 事務長
吉川和明	H13.8.25	H22.8.25	大阪大学蛋白質研究所教授
吉松賢太郎	H22.8.25		エーザイ(株)筑波研究所シニアサイエンティフィックアドバイザー
渡邊卓司	H22.1.1		(株)ペプチド研究所 取締役
橋本芳博	H24.1.1		甲子園短期大学 元教務課長

3. 賛助会員及び会費に関する事項

総合計 3,850,000円

関西地区 9社 年会費計 1,900,000円

会 員 名	年 会 費 (円)
大塚製薬株式会社	200,000
参天製薬株式会社	150,000
塩野義製薬株式会社	200,000
大日本住友製薬株式会社	200,000
武田薬品工業株式会社	300,000
田辺三菱製薬株式会社	300,000
株式会社ペプチド研究所	300,000
株式会社カネカ	100,000
株式会社千里インターナショナル	150,000

関東地方 8社 年会費計 1,950,000円

会 員 名	年 会 費 (円)
旭化成ファーマ株式会社	300,000
味の素株式会社	300,000
アサヒグループホールディングス株式会社	200,000
アステラス製薬株式会社	200,000
エーザイ株式会社	300,000
第一三共株式会社	300,000
トーアエイヨー株式会社	150,000
持田製薬株式会社	200,000

4. 会議に関する事項

区分	開催年月日	議 事 事 項	結 果
理 事 会	平成 23 年 3 月 28 日(月)	第 1 号議案 理事の辞任および監事の選任について	平成 22 年 9 月 28 日にご逝去された芝哲夫理事について、法務局への登記手続きの期限もあり、手続きを完了したとの報告があった。また、平成 23 年 3 月 31 日付で辞任の申出のあった大川監事の辞任と後任に（株）ペプチド研究所総務部長神吉由久氏を選任した。
		第 2 号議案 研究棟の今後の取り扱いについて	研究棟及び食堂棟について、未使用面積が多く、今後の利用見込みもないため土地建物を売却し、食堂棟跡地については、駐車場にすることが諮られ、承認された。
		第 3 号議案 平成 23 年度事業計画書及び収支予算書の承認	承認された。
		第 4 号議案 最初の評議員の選任方法について	新公益法人制度では評議員が法人の運営上重要な立場にあることから人選が非常に重要であり、内閣府の例を参考にした選任方法について文部科学省への認可申請することが承認された。

理 事 会	平成 23 年 6 月 20 日(月)	第 5 号議案 新公益法人制度への移行 開始について	平成 23 年度中に一般財団 法人（非営利型財団）への 移行申請について承認され た。
		第 6 号議案 議事録署名人の選任につ いて	高木俊夫、相本三郎両理事 を選出した。
		第 1 号議案 平成 22 年度事業報告書及 び収支決算書の承認	承認された。
		第 2 号議案 理事の辞任について	評議員会の決議事項につき 省略
		第 3 号議案 理事および監事の選出に ついて	評議員会の決議事項につき 省略
		第 4 号議案 評議員の選出について	平成 23 年 7 月 30 日付任期 満了となる池中評議員の重 任が承認された。
		第 5 号議案 最初の評議員選定委員会 について	最初の評議員選定方法につ いて文部科学省より認可が あり、選定委員として外部 委員 2 名を含めた 5 名が承 認された。
		第 6 号議案 新定款の制定について	新定款案及び「役員及び評 議員の報酬等並びに費用に 関する規定」について承認 された。
		第 7 号議案 議事録署名人の選任につ いて	榊原俊平、相本三郎両理事 を選出した。

区分	開催年月日	議事事項	結 果
評 議 員 会	平成 23 年 3 月 28 日（月）	第 1 号議案 理事の辞任及び監事の選出 について	平成 22 年 9 月 28 日にご逝去 された芝哲夫理事につい て、法務局への登記手続きの 期限もあり、手続きを完了し たとの報告があった。また、 平成 23 年 3 月 31 日付で辞任 の申出のあった大川監事の 辞任と後任に（株）ペプチド 研究所総務部長神吉由久氏 を選任した
		第 2 号議案 研究棟の今後の取り扱いに ついて	研究棟及び食堂棟につい て、未使用面積が多く、今後 の利用見込みもないため土 地建物を売却し、食堂棟跡地 については、駐車場にすること が諮られ、承認された。
		第 3 号議案 平成 23 年度事業計画書及び 収支予算書の承認	承認された。
		第 4 号議案 最初の評議員の選任方法に ついて	新公益法人制度では評議員 が法人の運営上重要な立場 にあることから人選が非常 に重要であり、内閣府の例を 参考にした選任方法につい て文部科学省への認可申請 することが承認された。
		第 5 号議案 平成 23 年度中に一般法人へ の移行開始について	平成 23 年度中に一般財団法 人（非営利型財団）への移行 申請について承認された。
		第 6 号議案 議事録署名人の選任につい て	長谷俊治、渡邊卓司、両評議 員を選出した。

評 議 員 会	平成 23 年 6 月 20 日 (月)	第1号議案 平成 22 年度事業報告書及び 収支決算書の承認	承認された。
		第2号議案 理事の辞任について	平成 23 年 4 月 3 日にご逝去された倉橋理事について、法務局への登録手続きの期限もあり手続きが完了したとの説明があり、承認された。
		第3号議案 理事及び監事の選出について	平成 23 年 8 月 9 日付で任期満了となる高木理事及び 8 月 25 日付で任期満了となる鷺田理事の退任について、又、8 月 24 日付任期満了となる神吉監事の重任について承認した。
		第 4 号議案 評議員の選出について	理事会の決議事項につき省略
		第 5 号議案 最初の評議員選定委員会について	最初の評議員選定方法について文部科学省より認可があり、選定委員として外部委員 2 名を含めた 5 名が承認された。
		第 6 号議案 新定款の制定について	新定款案及び「役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規定」について承認された。
		第 7 号議案 議事録署名人の選任について	長谷俊治、渡邊卓司、両評議員を選出した。

5. 許可・認可・承認・証明等に関する事項
なし

6. 契約に関する事項
なし

7. 寄付に関する事項
総件数:1件

(単位:円)

寄 付 者	寄 付 の 目 的	受 入 金 額
(寄付金)		
(株) ペプチド研究所	当財団事業目的遂行のため	6,000,000
計1件		6,000,000